

大地震に備えるための

防災確認リスト (折本地区用)

自宅やその周辺にいるときに地震で被災した場合に備えて家族で確認しておきましょう。

◆避難場所

自宅建物の倒壊や火災の危険性は？

なし

※折本地区には他地区にあるような「いっとき避難場所」「広域避難場所」はありません

あり

家を離れる時は必ず
ブレーカーを落とし、
ガスの元栓を閉める!!

自宅避難

自宅建物の倒壊や火災の危険がないときは、あえて避難しない。自宅に最低3日分の備蓄を用意しておく。

地域防災拠点

(折本小学校)

家が倒壊や火災などにより、自宅で生活できなくなった人たちが一時的に避難生活を送る場所。

※震度5強以上の地震を観測した場合に開設。

※自宅避難の方もここで救援物資や情報が得られる。

※避難生活で特別な配慮が必要である人のための二次的避難場所(福祉避難所『仲町台地区センター』)が開設される場合がある。

◆家族/親族との連絡方法

電話回線はパンクする可能性が高いので、あらかじめ家族間での連絡方法を決めておく。

<例>

- 災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)
- 各携帯会社の災害用伝言版
- LINE などの SNS



◆自宅に備蓄しておく最低限のもの

防災拠点には避難者への最小限の備蓄品しかないので、自宅に家族3日分の備蓄をしておく。

<1人3日分の目安>

飲料水
9L



食料品
9食



トイレパック
15パック



※水は2Lのものばかりではなく、1人用の500mLもいくつか用意しておく。(2L×3本、500mL×6本など)
※必要な時に期限が切れては意味がないので、水、缶詰やレトルト食品などを家族で必要な量を用意し、月に数回食べる日を作り、食べた分だけ買い足していく【ローリング・ストック法】がおすすめです。

【わが家の防災準備状況】

◆避難場所、待合せ場所など

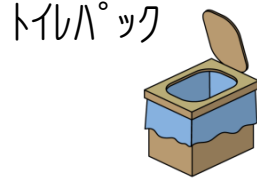
◆家族/親族との連絡方法と連絡先



<氏名>	<連絡方法>	<TEL や Eメール等>
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

◆備蓄品

家族の人数 人



水 L
準備状況 ()

食料 食
準備状況 ()

トイレパック パック
準備状況 ()

◆その他の必需・避難時の必携品など

